

彙 報

会長 西田 龍雄

昭和 54 年度第 2 回常任委員会

日 時：9月10日（月） 午後1時30分～5時

場 所：京大会館 第219号室

出席者：西田龍雄，大東百合子，国広哲弥，小泉保，徳川宗賢

欠席者：奥津敬一郎，塩谷饒，野元菊雄，松田伊作（委任状あり）

議事：1) 第79回大会について。

プログラム（公開講演者，研究発表者及び司会者）を決定し，案内状作成の準備をした。

2) 図書交換について。

現在交換を希望している下記の4つの海外の団体と雑誌の交換を行うことにした：

『民族語文』（中国社会科学出版社）

Bulletin of the School of Oriental and African Studies (University of London)

Naše Reč : Ústav pro Jazyk český (Československá Akademie věd)

Slovo a Slovesnot (Československá Akademie věd)

Linguistics (University of California Press)

また従来から続けている『東洋学報』との交換は今後も継続するが，その他の国内諸機関の紀要などとの交換はしないことを了承した。

3) 役員兼任について。

前回委員会に於いて提議された選挙管理委員の重任の問題について協議した結果，会則の中選挙規則17項の注として，「選挙管理委員の連続三選は許さない」（原案）を p. 73 に入れることで意見が一致した。

4) 次期大会会場について。

第80回大会の会場候補校を東京外国語大学とする。

5) 常任委員の選挙の日程について。

常任委員4名の任期満了(55年3月末日)に伴う選挙の日程を検討した。

昭和54年度第2回委員会

日 時：10月13日(土) 午前11時30分～午後12時30分

出席者：西田龍雄，井上和子，打田佐田郎，大東百合子，岸本通夫，北嶋静江，北村甫，日下部文夫，清水克正，杉藤美代子，関本至，竹内和夫，塚本勲，徳川宗賢，野元菊雄，広戸惇，蛭沼寿雄，前田富祺，村山七郎，矢島文夫，吉川守，吉町毅雄(以上22名)

オブザーバー：服部四郎，泉井久之助(以上副会長)，堀井令以知(会計監査委員)

欠席者(委任状あり)：池上禎造，池上嘉彦，石綿敏雄，井上史雄，岩本忠，梅田博之，上野善道，大江三郎，大野晋，奥津敬一郎，長田夏樹，風間喜代三，加藤正信，亀井孝，川本茂雄，木村彰一，国広哲弥，W.A. グロータース，小泉保，江実，五島忠久，阪倉篤義，崎山理，佐藤喜代治，佐藤茂，佐藤純一，柴田武，築島裕，徳永康元，野村正良，橋本萬太郎，林栄一，早田輝洋，平山輝男，松田伊作，松本克己，三宅鴻，山口秀夫，和田祐一(以上39名)

欠席者(委任状なし)：飯豊喜代治，池上二良，大江孝男，田中克彦，塩谷饒，下宮忠雄，林大，藤原与一，三根谷徹，山末一夫(以上10名)

冒頭に，故辻直四郎氏(本会評議員)の冥福を祈って黙禱を捧げた。

報告：1) 第2回常任委員会の報告(常任委員会議事参照)。

議事：1) 常任委員の任期満了に伴う選挙の日程。今年度末(55年3月末)に，関東地区2名(国広，野元)，中部・近畿地区1名(小泉)，中国・四国・九州地区1名(松田)計4名の方の任期が満了するので，新常任委員の選挙を次のように行うよう決定した：

投票用紙発送 2月初旬

投票締切 2月29日

開票 3月8日

2) 次期大会会場の決定。

55年度春期大会の会場を東京外国語大学とすることに決定した。大会運営委員長は松山納教授。なお、開催日は慣例に従い6月初旬とする。

3) 選挙管理委員の三選について。

選挙管理委員の連続三選は回避すべきであるとの意見が多いため、常任委員会で協議した原案“日本言語学会選挙規則第17項に「選挙管理委員の連続三選は許さない」の注記をつけ加える”の提示があり、投票の結果、原案通り採択された。会則変更に伴う投票の結果は下記の通り：

賛成 20

反対 2

なお、一般に役員の兼任は回避すべきであるが、選挙管理委員は役員ではないことが改めて確認された。

4) 九学会連合について。

本学会の九学会連合理事である江実氏が病気で出席できないため、代って会長より次のような報告があった。

九学会連合は、明年度以降、対島壱岐島の総合的調査を行う予定であるが、明年度は予備調査をなし、本調査はその後3～4年つづけて行いたい。そのため明年度の科研費総合研究Bの申請をする。ついでには各学会から2名の参加者を推薦いただきたいとの申し出があった。

これには種々の事情があり細目が不明であるため、委員会としてはこの調査に賛成することと、2名の参加者を推薦すること、ただし具体的な人選は細目がわかって以後、会長が九学会連合理事、常任委員会と諮って決定することです承された注)。

5) 国際言語学会議の日本での開催について。

服部副会長を通じて、国際言語学会議を1982年に日本に於いて開催するにあたり、日本言語学会に対して協力の要請があった。日本言語学会は、これに対して協力することを決定した。ただし、国際言語学会議の開催に際しては言語学会が全責任を負うのではなく、新たにその準備組織委員会が組織され、資金等の一切の責任はその委員会が負うことになる。

* その後服部副会長より、日本学術会議公認の国際学会として学術会議と共同開催するためには、日本言語学会が共催するという決定が必要である旨の連絡があった。この点について常任委員各位の意見を求めた結果、改めて委員の了解をとる必要があるとの意見が多数であったため、次の2点について委員各位の賛否を問ったところ、下記の結果を得た。(回答総数54)

- ① 前回の常任委員会・委員会で国際言語学会議に協力することを決定した主旨に基いて、名目上日本言語学会が日本学術会議と共催することを了承する。

了承する	53
回答欄記載なし	1

- ② 12月中頃に結成される予定の組織委員会(実際にはその委員長)から、実質上会計などについて組織委員長が責任をとり、日本言語学会には迷惑をかけないという一札をもらっておくという条件が必要であると考える。

必要である	39
必要ではない	12
回答欄記載なし	3

以上の結果に従ってこの問題を処理する旨を12月7日各委員に報告した。

注) 九学会連合対島壱岐島総合的調査について。

その後、九学会連合から、都合により対島壱岐島の実地調査は取り止めになったが、科研費総合研究Bは予定通り申請するので、2名の研究分担者

を推薦していただきたいとの要請があった。会長は九学会連合理事、常任委員会に諮問の上、研究の分担者として、徳川宗賢、井上史雄の両氏を推薦した。(11月26日付で九学会連合常任理事に連絡。)

第79回大会

期 日：昭和54年10月13日(土)・14日(日)

会 場：天理大学 南棟校舎4階 4-4A 教室(第1日)

2階 3-2 I 教室(第2日)

第1日(10月13日)

公開講演(午後2時～5時30分)

染田利信 「音韻論における問題点について」

Nicolas Ruwet Syntaxe et sémantique en grammaire générative—
Critique de certaines propositions récentes de
Chomsky—

会員懇親会(午後6時より、天理観光ホテル)

第2日(10月14日)

研究発表(午前10時30分～12時)

1) 「関和算の言語学への一検討 —関孝和の将来的な意義—」

菅野 憲司

2) 「唐詩に於ける韻の概念 —今体詩と古体詞—」

松尾 良樹

3) 「音韻規則と形態音韻規則の重合と分離(フィンランド語)」

今津 藤一

臨時会員総会(午後1時～1時30分)

4) 「ポーランド語における受動構文について」

佐藤 昭裕

5) 「主格三型式とハ」

今泉 喜一

6) 「「主語の位置への主語繰り上げ」操作と日英語動詞の

派生について —推定助動詞を中心として—」

澤田 治美

7) 「東京アクセントにおける『花と鼻』の発話と知覚について」

杉藤美代子

閉会の辞：染 田 利 信

◇ 物故会員

渡辺綱也（8月24日逝去）， 辻直四郎（9月24日逝去）

受贈図書リスト（昭和54年7月1日～昭和54年11月30日）

アジア・アフリカ言語文化研究所 東京外国語大学要覧 1979

（東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 1979）

大阪教育大学紀要 I 人文科学 Vol.27, Nos.1・2 ; 3 （1978, 12 ; 1979, 2）

関西外国語大学研究論集 No.30

（関西外国語大学, 関西外国語短期大学 1979, 7）

カナノヒカリ Nos.683-687 （カナモジカイ 1979, 7-11）

計量国語学 Vol.12, Nos.1 ; 2 （計量国語学会 1979, 6 ; 9）

考古学雑誌 Vol.65, Nos.1 ; 2 （日本考古学会 1979, 6 ; 9）

語学研究 No.19 （拓殖大学語学研究所 1979, 7）

国語学 第117 ; 118 集 （国語学会 1979, 6 ; 9）

国立民族学博物館 学術雑誌目録 欧文篇 1979

（国立民族学博物館情報管理施設 1979, 3）

国立民族学博物館研究報告 Vol.3, No.4 ; Vol.4, No.1

（国立民族学博物館 1979, 3 ; 7）

語文 第48輯 （日本大学国文学会 1979.6）

宗教研究 Vol.53 第1 ; 2輯 （日本宗教学会 1979, 6 ; 9）

人類学雑誌 Vol.87, No.3 （日本人類学会 1979, 7）

- 聖書翻訳研究 No.16 (日本聖書協会 1979, 6)
- 専修語学ラボラトリー論集 No.7 (専修大学LL研究室 1978, 12)
- 朝鮮学報 第91 ; 92輯 (朝鮮学会 1979, 4 ; 7)
- 朝鮮文化概観 (朝鮮 平壤, 外国出版社 1979)
- 通信 Nos.35 ; 36
(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1979, 3 ; 7)
- 東京外国語大学論集 Area and Culture Studies 29
(東京外国語大学 1979, 3)
- 東方学 Vol.58 (東方学会 1979, 7)
- 東方学会報 No.36 (東方学会 1979, 8)
- 東洋音楽研究 No.44 (東洋音楽学会 1979, 8)
- 東洋学報 Vol.60, Nos.1・2 ; 3・4 (東洋文庫 1978, 11 ; 1979, 3)
- 都大論究 No.16 (東京都立大学国語国文学会 1979, 4)
- 新潟大学教育学部紀要 No.20 (人文・社会科学編)
(新潟大学教育学部 1979, 3)
- 日本学士院紀要 Vol.36, No.1 (日本学士院 1979, 3)
- 日本学術会議月報 Vol.20, Nos.6-10
(日本学術会議広報委員会 1979, 6-10)
- 日本常民文化紀要 第5輯 (成城大学大学院文学研究科 1979, 3)
- 日本文化 Vol.4 (日本文化研究所編集部 1979, 9)
- 日本民俗学 Nos.123-125 (日本民俗学会 1979, 8-10)
- 方言談話資料(2)一奈良・高知・長崎一 (国立国語研究所資料集 10-2)
(国立国語研究所 1979, 3)
- 放送文化 '79年7月号～11月号 (日本放送出版協会 1979, 7-11)
- 民族学研究 Vol.44, Nos.1 ; 2 (日本民族学会 1979, 6 ; 9)
- 月刊 みんぱく '79年6月号～11月号 (国立民族学博物館 1979, 6-11)
- Acta Asiatica* (Bulletin of the Institute of Eastern Culture) 37
(東方学会, 1979)
- Annual Reports* Vol.4 (I. C. U., 1979)

- Arciv Orientalni (ArOr)* Vol.47, Nos.1-2 (Academia Praha, 1979)
- Bulletin d'Analyses de la Litterature Scientifique Bulgare*, No.2
(Academie Bulgare des Sciences, Sofia, 1979)
- Bulletin of the School of Oriental and African Studies* Vol.XLII,
Part 2 (University of London, 1979)
- Descriptive and Applied Linguistics* (Bulletin of the I.C.U. Summer
Institute in Linguistics) Vol. XII (I. C. U., 1979, 4)
- Lexicon* No. 8 (岩崎研究会 1979, 6)
- Мовознавство, 75 (No.3) ; 76 (No.4) (Наукова Думка, Київ 1979)
- Naše Reč : Ústav pro Jazyk Český* ročník 62, číslo 2 ; 3 ; 4 1979
(Academia nakladatelství Československé akademie věd)
- АОКІ, Haruo : *Nez Perce Texts*
(University of California Publications Linguistics 90, 1979)
- Русская литература No. 2 (Ленинград, 1979)
- Русский язык в школе, Nos. 3 ; 4 ; 5 (Просвещение Москва 1979)
- SIL Summer Institute of Linguistics Annual Report 1978*
(National Library of Australia 1979)
- Slovo a Slovensnost*, ročník-XL číslo 2 ; 3
(Československá Akademie věd 1979)
- Sophia Linguistica* V (上智大学, 1979)
- Вестник Ленинградского университета (История-Язык-
Литература), No. 8 (Ленинград, 1979)

◇ 訂 正

本誌第76号 p.108 新入会員名簿中の鈴木敏明は鈴木敏昭につき訂正します。

◇ 本誌は文部省昭和54年度科学研究費補助金の交付を得て刊行されたものである。